

口腔機能向上サービスについて

かりんの里デイケアでは、食べる飲み込む機能の維持向上のための「口腔機能向上サービス」を実施しています。

(160 単位/1 回・月 2 回まで算定)



健康な高齢者の方でも、また「食べること」に困っていないように見えても、口の衰え(オーラルフレイル)は進行しています。

口腔機能の低下は、誤嚥性肺炎や窒息のリスクを高めるほか、食欲低下やエネルギー摂取量の減少、生活機能の低下につながる恐れがあることから、早期発見・早期対処がきわめて重要となります。

口腔機能向上に関する取り組みによって期待される効果として、

- ・舌や口唇の運動機能がアップ
- ・唾液の分泌量がアップ
- ・味覚が改善
- ・日常生活自立度や生活の活力が改善 などの報告があります。



評価によって口腔機能の低下がみられる方、また今後低下のおそれがある方には、口腔機能の維持向上のための『口腔・嚥下機能の訓練』や『口腔衛生管理(≠歯磨き)』を言語聴覚士と歯科衛生士が専門的に行います。

口腔・嚥下機能の訓練では、発声・構音訓練や口腔の体操等を、口腔衛生管理では、バイオフィルム除去を基本とした専門的な口腔ケアを、個々に合わせた内容で計画を立て行っています。



作品作り

トイレットペーパー芯に紙コップをかぶせて桜の木を作りました

毎年この季節には、桜をモチーフにした作品を作っています。今年は紙コップとトイレットペーパーの芯を使って桜を作りました。ピンクの画用紙でまあく形を作り、切った桜の花を張り、満開の桜の木に仕上げました。

最初はどんな仕上がりになるかイメージがつきにくかったようですが、形が出来てくると、作業ペースもあがり、かわいらしく出来上がりました。

